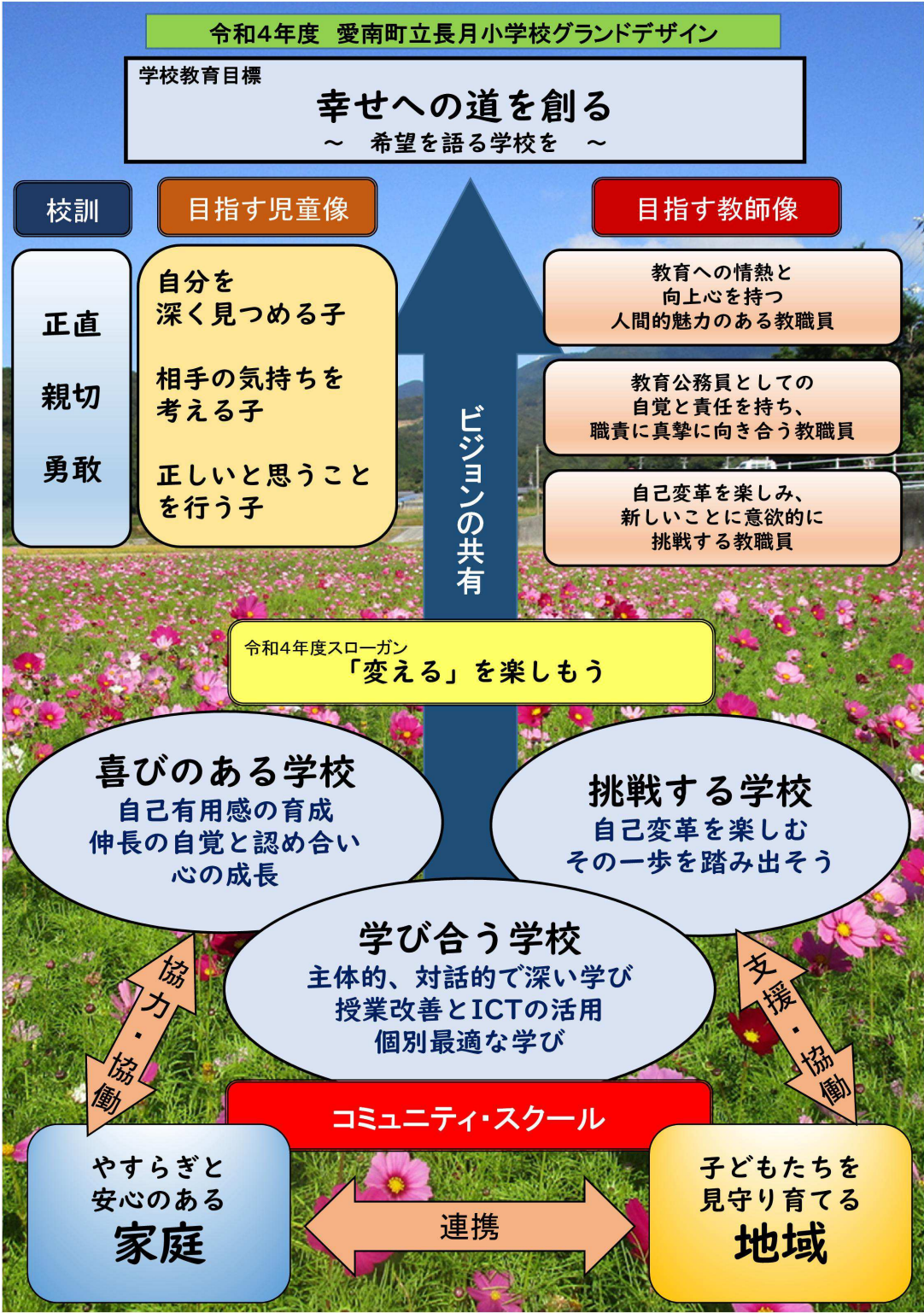


令和4年度 教育計画						学校番号 088	
愛南町立長月小学校							
校長名	若松 隆仁	学級数	4 (1)	児童 生徒数	17	教職員数	7



<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標</p>	<p>1 特色ある学校づくり 学習指導要領の趣旨を理解し、児童や地域の実態及び教職員の創意を生かした「次世代を生き抜く力」を育む教育課程の編成・実施・評価に努める。</p> <p>2 現職教育 (1) 自己のキャリアステージを意識し、資質・能力(人間力、実践的指導力、組織力、信頼構築力)の充実・発展を目指した専門的、実践的研修の充実を図る。 (2) 主体的に学校経営に参画する意識の高揚と、人間的な力量を高めるために、研究及び修養を推進する。</p> <p>3 教科指導 授業改善を意識するとともに、ICTの活用をさらに進めて、主体的、対話的で深い学びを目指し、自ら学び自ら考える力の育成に努める。</p> <p>4 道徳教育 (1) 自己の生き方についての考えや人間としての生き方の自覚を深めることのできる道徳科の授業実践に努める。 (2) 考え、議論する道徳科の工夫、充実を努め、児童の道徳性を育成する。</p> <p>5 生徒指導 (1) 認め合い、支え合う仲間づくりや学級づくり、学校づくりにより、いじめ・不登校・非行等を防止する。 (2) 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を生かし、学校を支援する体制作りを進める。</p> <p>6 特別支援教育 (1) 児童の発達課題や学習上の困難等の実態把握に努め、保護者及び関係機関からの情報をもとに必要に応じて個別の指導計画等を作成し、適切な指導と支援の充実を努める。 (2) 全教職員で教育的支援についての共通理解と指導の充実を努める。</p> <p>7 人権・同和教育 教職員自らが、わがこととして考え、人権意識の高揚を目指す研修の充実を図るとともに、自己研鑽に励み、人権感覚を磨く。</p> <p>8 健康安全教育 危機管理意識を持って、自らを守る指導の徹底を図り、「自分の命は自分で守る」児童を育成する。</p> <p>9 家庭・地域との連携 PTA、地域住民、地区公民館等との連携を図りつつ、コミュニティ・スクールとしての創意や工夫を生かした特色ある「地域に開かれた学校」づくりを進める。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">管理運営</p>	<p>1 人的管理 (1) 教職員の信頼関係を基盤に、磨き合い、高め合う教師集団を目指す。 (2) 服務規律の遵守、危機管理意識の徹底、健康管理の推進を図る。 (3) 目的を意識し、「簡易にできるもの」や「しなくてもよいもの」「変更が望ましいもの」等の改善を進める。</p> <p>2 物的管理 (1) 施設・設備・備品の点検、整備とその活用並びに潜在的危険箇所の早期発見とその対策に万全を期する。 (2) 教材・教具の効果的な活用と、適切な管理・購入に努める。</p> <p>3 事務管理 (1) 平城共同学校事務室との連携を図り、迅速で正確な事務処理と校務支援システムを活用した業務の効率化に努める。 (2) 情報の厳正な管理及び情報公開に対応した適切な処理・管理に努める。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">本校教育の特色</p>	<p>1 地域とのつながり〈コミュニティ・スクール〉 地域とのつながりが教育活動に生きている。田や畑での栽培活動をはじめ、様々な教育活動に地域住民や保護者の協力が厚い。また、コミュニティ・スクールとしての歩みの中で、学校運営協議会委員が学校教育に積極的に関わっている。</p> <p>2 極小規模校であること 極小規模校であるからこそできることを重視し、一人一人を大切にされた教育を推進している。個を見つめ個に応じた力の育成を図るとともに、限られた環境の中でできることを、創意工夫を重ねながら実践している。愛南町の学校再編に関する答申では、統廃合を進める学校の一つに上げられており、学校再編への話し合いを進めている。</p>